

話し合いの目的と進め方

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📌 きょうの
めあて

話し合いの目的と進め方をたしかめて、
次に話し合うことを決めよう

🔍 まず、たしかめよう

- 話し合いの前に、**目的**（何を決める？）と**進め方**（どの順に話す？）をたしかめる。
- 進め方のれい：①目的をたしかめる → ②意見を出す → ③くらべる → ④まとめる
- 話し合いを進める役（司会）は、目的からそれていないかを見る。

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 話し合いの目的が「遊びを一つ決める」とき、まず何をする？

① いきなり決めない。

② 目的を
みんなでたしかめる。

③ 目的をたしかめる

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 意見がたくさん出た後に することは？

☐ 意見をくらべて、共通点や相違点^{そういてん}を見る

☐ 最初に出た意見に決める

② 話し合いが目的からそれたときに言うとよいのは？

☐ 「今は、遊びを決める話をしましょう。」

☐ 「もう終わりにしよう。」

③ 遊びを決める話し合いで、「外がよい」「部屋の中がよい」と意見が分かれた。次にたしかめるとよいことを一つ書こう。

答え

1. 意見をくらべて、共通点や相違点^{そういてん}を見る 2. 「今は、遊びを決める話をしましょう。」
3. 例：雨の日と晴れの日で、遊びを分けてもよいか。

こじせいご さいおう
 故事成語 「塞翁が馬」

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

こじせいご さいおう
 故事成語 「塞翁が馬」 の元になった話を読んで、意味を知ろう

元になった話 (「淮南子」という昔の本より)

昔の中国の国ざかいの近くに、一人の老人がいた。ある日、老人の馬がにげてしまったが、老人は「これがよいことになるかもしれない。」と言った。しばらくして、その馬がりっぱな馬をつれて帰ってきた。ところが、老人のむすこがその馬から落ちて、足にけがをした。やがて戦争が起こったが、むすこはけがのため戦いに出ずにすみ、命が助かった。

いっしょにやってみよう

れい 馬がにげたことは、よいことだった？

- ① にげた → りっぱな馬をつれて帰った。 → ② 悪いことの後に、よいことが起きた。 → ③ 答え 後からよいことにつながった

やってみよう

できたところまでで OK

1 「塞翁が馬」の意味は？

- ☐ よいことと悪いことは、先が分からない
☐ 馬は大切にしなければならない

2 むすこがけがをしたことは、後で どうなった？

- ☐ 戦いに出ずにすんだ ☐ りっぱな馬が帰ってきた

3 「塞翁が馬」に合う出来事を考えて、短く書こう。

- 答え 1. よいことと悪いことは、先が分からない 2. 戦いに出ずにすんだ
 3. 例：電車がおくれて こまったが、そのおかげで 前から会いたかった人に駅で会えた。

字の大きさと配列

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

漢字とかなの大きさや、行の中心に気をつけて書こう

まず、たしかめよう

- 漢字は かなより **少し大きめ** に、かなは **少し小さめ** に書くと、読みやすい。
- 縦^{たて}に書くときは、字の **中心** を そろえて まっすぐに書く。
- 字と字の間を、ほぼ等しくあける。

いっしょにやってみよう

れい 「花がさく」の「が」は、どう書く？

① 漢字「花」より
少し小さめ。

② ますの真ん中に。

③ 少し小さめに、
中心をそろえて

やってみよう

♡ できたところまでで OK

1 読みやすい書き方は？

- ☐ 漢字は少し大きく、かなは少し小さく
- ☐ 全部の字を同じ大きさに、ますいっぱい

2 縦書き^{たてが}で、行がまがらないようにするには？

- ☐ 字の中心をそろえる
- ☐ 字の右はしをそろえる

3 大きさと中心に気をつけて、うすい字をなぞってから書こう。

季 節 の 花

答え 1. 漢字は少し大きく、かなは少し小さく 2. 字の中心をそろえる 3. (書けたら OK)

漢字（くらし）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

くらしに使う漢字「衣・料・産・貨」を読んで書こう

きょうの漢字

音 イ
訓 ころも
いふく いるい
衣服・衣類

音 リョウ
りょうり ざいりょう
料理・材料
「米」と「斗」

音 サン
訓 う(む)・
う(まれる)
せいさん う
生産・産む

音 カ
かもつ きんか
貨物・金貨
下は「貝」

いっしょにやってみよう

れい 「りょうり」を漢字で書くと？

- ① 「料」は「米」と「斗」（ます）。 ▶ ② 「理」と合わせる。 ▶ ③ 答え 料理

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 衣服をたたむ。

(2) 料理をする。

(3) にわとりがたまごを産む。

(4) 貨物列車が走る。

② □に漢字を書こう。

(1) □^い類

(2) □^{りょう}金

(3) 米を生□^{さん}する。

(4) 金□^か

③ 「貨物」の意味は？

- ☐ 運ぶ荷物 ☐ お金でできた物

答え 1. (1) い (2) りょう (3) う (4) か 2. (1) 衣 (2) 料 (3) 産 (4) 貨 3. 運ぶ荷物

たとえを使って詩を書こう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📌 きょうの
めあて

「～のような」などのたとえを使って、
見たものや感じたことを詩に書こう

🔍 詩のれい

雲 (れい)

ふわふわの ひつじのような 雲
風にふかれて どこへ行く

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 「ひつじのような雲」は、何が にている？

① 雲の形・色。

② ふわふわで白い。

③ ふわふわで白いところ

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 「～のような」を使ったたとえは？

☐ りんごのような赤いほっぺ

☐ 赤いりんごを食べた

② 「夕日」をたとえとしたら？ 合うものを選ぼう。

☐ ^も燃えるような

☐ こおったような

③ 身の回りのもの（れい：月・雨・葉っぱ）を一つ選んで、たとえを使った詩を
二行で書こう。

答え

1. りんごのような赤いほっぺ 2. ^も燃えるような

3. 例：まるい月は ぼんやり光る電球のよう／夜の空を そっと照らす